

授業科目(ナンバリング)	ホスピタリティ演習 I (N4A201)			担当教員	藤田 英明・高井 伸彦・神田 紘介・ 出口 雄也・波多江 日成子・引率教員		
展開方法	演習	単位数	0.5 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
「ホスピタリティ演習 I」は、「臨床体験学習」を主体としたヒューマニズム教育を行う科目である。 1 年次の「早期体験学習」をベースに、医療現場での体験学習を通じて、医療人としての心構えを学ぶ と共に、学習へのモチベーション向上を目指す。							②⑦
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力						%	
情報収集、 分析力						%	
コミュニケーション力	医療人の役割について体験し、自ら学ぶことができるようになる。				態度・プレゼン テーション・レ ポート	40%	
協働・課題解決 力	チーム医療における他の医療職との連携・役割分担について関心を持てるようになる。				態度・プレゼン テーション・レ ポート	30%	
多様性理解力	チーム医療における他の医療職と薬剤師の役割の違いについて、体験し理解する。				態度・プレゼン テーション・レ ポート	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
「臨床体験学習」は原則参加することが必須であり、リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションを行う。事前学習・実習中の態度およびプレゼンテーション・レポートの内容を評価す る。プレゼンテーション・レポート評価の評価指標（ルーブリック）は別途配布する。							
授業の概要							
「臨床体験学習」は長崎市にあるリハビリテーション病院において、実際の医療現場で特に他職種連携について見学・ 体験する。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：配布プリント等 参考書：「先輩薬剤師から聞いたこれだけは押さえてほしいルール&マナー 1 版」（南山堂）（1 年次購入済み） 指定図書：「薬学生 dead or alive—薬学生、成功への鍵は…」（京都廣川書店）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「臨床体験学習」は実際の医療現場を体験するため、薬剤師が他者（患者・医師・理学療法士など）とどのような関わり をするのかについて考えて欲しい。また、自分が将来どのような薬剤師になるのかについて、思いを馳せて欲しい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標番号*
1	臨床体験学習 1	事前学習 (神田・藤田・高井・出口・波多江)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
2	臨床体験学習 2	リハビリテーション病院で医療現場を体験する。(神田・藤田・引率教員) *終日 (5コマ相当)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54
3	臨床体験学習 3	リハビリテーション病院での体験について、各グループで SGD を行い、プレゼンテーションの準備を行う。(藤田・神田・高井・出口・波多江)	体験学習した内容について復習する。	54
4	臨床体験学習 4	リハビリテーション病院での体験について、各グループでプレゼンテーションを行う。(藤田・神田・高井・出口・波多江)	他のグループのプレゼンテーションの内容について復習する。	54

注) 上記の第1回～第4回は、授業の概要を示したもので、講義の回数に変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、大学 HP 掲載のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。